

目指す学校像

明日の登校を  
楽しみに  
できる学校



自主・自律 敬愛 協働

# 鶴中だより

鶴川中学校だより

第1号

2026年4月14日発行

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

町田市立鶴川中学校

CLICK!

検索

## 1 2026年度が始まりました。今年度もよろしくお願ひします。

2026年度が始まりました。今年度は通常級計482名（1年5学級、2年4学級、3年5学級）、1組26名の合計508名の生徒、教職員は13名が転出又は退職、10名が新たに鶴川中学校教職員に加わり、31名の教員と8名の職員でスタートします。

また、昨年度末に完了する予定でした中規模改修工事ですが、設計上の瑕疵が見つかり、工期が約半年延びることとなりました。ご不便をおかけしますが、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 〈転入・復職又は新規に着任した教職員名（教科名・職名）〉（4月6日着任式）

足達 夕夏（国語・特支）／宇田 尋美（数学）／小林 実央（美術）

木内 亜矢（養護）／中島 沙織（音楽）／山口 晃平（保体・特支）

小畑 尚子（市事務）／蛭田 敏明（用務）／平野 朗（特別支援教育専門員）

溜谷 美南（特別支援教育支援員）

## 2 4月6日（月）始業式校長講話「縄文杉に学ぶ」

校長 大石 眞二

### （1）ぶっつけ本番の縄文杉トレッキング

皆さん、改めましておはようございます。いよいよ新年度が始まりますね。新たなクラスでのスタートに期待と不安が交錯していることと思いますが、飛躍の一年にしていきましょう。さて、この春休み、私は大きな挑戦をしてきました。鹿児島県の屋久島、その奥深くにそびえる「縄文杉」をひと目見るためのトレッキングです。屋久島は世界自然遺産ですが、なぜ世界自然遺産に選ばれたのでしょうか。それは、この小さな島の中に「日本列島のすべて」が詰まっているからです。海岸には南国の植物が生え、山頂には北海道のような雪が降る。この「垂直分布」と呼ばれる豊かな生態系、そして数千年を生き抜いた縄文杉の生命力、そして何より、日本で唯一認められた「圧倒的な自然の美しさ」があるからです。

往復22キロ、時間にして約10時間。険しい山道を歩き抜くためには、本来なら数ヶ月前からスクワットをしたり、登山靴を履きならしたりする「体づくりの訓練」が不可欠です。しかし、忙しさを言い訳に、私は全く訓練ができないまま、当日を迎えてしまいました。まさに「ぶっつけ本番」です。

### （2）「予習」の力

ただ、何もしなかったわけではありません。体は動かせませんでした、「情報の準備」だけは徹底しました。今の時代、ネットやYouTubeを開けば、ガイドブックの情報より

も詳しく、何でも教えてください。ただし、それらは個人の主観であるため、複数の情報を比較することで、より客観的な事実に近づくことができます。「3月なら服装は何かよいか」「水分は湧き水で補充できるからペットボトル1本でよい」「トイレはこの場所以降はない」など。動画を何本も見て、頭の中でシミュレーションを繰り返し、準備をしました。

その結果、どうだったか。当日は、どこで何をすべきか、次にどんな困難が来るかが分かっているだけで、不安は半分になり、体力不足を「予習」でカバーすることができました。そして疲労困憊したものの何とか樹齢7000年の縄文杉に出会うことができたのです。勉強や部活動も同じだと思います。「自分には才能がないから」「練習時間が足りないから」と諦めてしまう前に、「情報を集め、作戦を立てる」という準備はできていますか。今の時代、知恵を絞れば、補えることはたくさんあります。

### (3) 迷いと決断

もう一つ、私が最後まで迷ったことがあります。それは「ガイドツアーに参加するか、個人で行くか」です。安全を考えればプロに頼るべきですが、自分のペースで、場合によっては途中で引き返すという決断もしたいという思いもありました。悩み抜いた末に出した結論は、ガイドなしで挑戦するということでした。

道中、足が動かなくなりそうなほど苦しい瞬間が何度もありました。でも、その時に自分を支えたのは「自分で決めたんだ」という自己決定の覚悟でした。皆さんも、この1年、進路や部活動、人間関係で「どっちにしよう」と迷う場面がたくさんあると思います。周りの意見を聞くのも大切ですが、最後は「自分で決める」。自分で決めた道だからこそ、苦しい時に踏ん張りがきくのです。

### (4) 最後に

2年の皆さんへ。皆さんは「中堅学年」として、去年の経験という「予習」がすでに済んでいます。去年の失敗をどう生かすか、知恵を絞る1年にしてください。3年の皆さんへ。最高学年の皆さんは、まさに「自分の足で歩く」時期です。誰かに言われたからやるのではなく、自分で決めて、自分の足で一步步進んでください。傷だらけになりながら歩いた先に現れた縄文杉は、写真や動画で見るとよりずっと神秘的で、命のエネルギーにあふれていました。皆さんも、1年後の修了式の日、自分だけの「最高の景色」が見られるよう、今日から一歩を踏み出しましょう。

3月の修了式では、鶴川中を去る先生方にご挨拶をしていただきました。そして新年度からは、10名の教職員の方々が増えることとなりました。今日からは、新しい担任やクラスメイト、新しい教科担任や顧問などと、去年以上に素晴らしい人間関係を築いていってください。

また明後日からは177名の新生が入ってきます。緊張して入学してくる新生を、どうか温かく迎えてあげてください。先輩の背中を見て後輩たちは育ちます。ここにいる2・3年生が立派な背中を見せてくれることを、心から期待しています。

それでは2026年度も、元気に過ごし、いっぱい学びましょう。終わります。